流山市災害医療体制のご案内

災害時、こんな時は救護所へ

・比較的軽い怪我（切り傷、打撲、捻挫など）
・発熱、頭痛、腹痛、吐き気などの体調不良
・薬や医療相談が必要なとき
・不安や心配があるとき



軽症の場合は、まずは救護所へ！

病院に直接行くと、重症者の治療に支障が出る恐れがあります。まずは、お近くの救護所で、医師によるトリアージ（判定）を受けましょう。



救護所とは？

けがや体調不良の方を受け入れ、応急措置やトリアージ（判定）を行う場所です。
・医師、看護師などが対応します
・軽症の方の応急処置や健康相談を行います
・必要に応じて病院への搬送を判断します
※救護所には、十分な医療設備や薬の備蓄がない場合があります。





救護所開設場所

（災害時に開設する救護所）

❶東深井中学校
【住所：東深井 47】
❷常盤松中学校
【東初石 3-134】
❸南部中学校
【加 3-600-1】
❹東部中学校
【名都借 865】
❺南流山第二小学校
【南流山 10-2-3】
※災害の状況により、開設場所が変更に

救護所での流れ

❶ 受付
名前や症状を確認します。



❷ トリアージ（判定）
医師が症状や状態をみて緊急度を判定します。



❸ 処置・観察
応急処置や経過観察を行います



❹ 搬送の判断
必要に応じて、病院へ搬送します。



災害時にケガをしたらどうする？

ケガの程度に応じて、適切な場所で処置を受けましょう。

軽いケガ

自分や周囲の人で応急手当を

・すり傷、打撲、やけど（軽度）
・ねんざ など



まずは安全な場所で応急手当をしましょう。

軽症（歩行可能な方）

お近くの救護所へ！

・軽い切り傷、すり傷、打撲など



歩いて移動できる軽いケガの方は、お近くの救護所へ行きましょう。
（医師・看護師が対応します）

中等症

救護所で相談・処置を受ける

・骨折が疑われる　・やけど（中等度）
・強い痛みなど



救護所で医師・看護師の診察を受け、必要な処置を行いましょう。

重症

すぐに助けを呼ぶ・救急対応へ

・意識がない　・呼吸が苦しい
・大量出血　・けいれん　など



119番に通報し、救急車を呼びましょう。

トリアージとは？

トリアージとは、災害時に多くの傷病者が発生したときに、
緊急度や重症度に応じて治療や搬送の優先順位を決めることです。

トリアージの判定区分（色分けの例）

赤（最優先）	今すぐ治療しないと命に関わる状態	ただちに病院へ搬送
黄（優先）	すぐに治療が必要だが、赤ほどではない状態	症状が安定したら順次病院へ搬送
緑（待機）	軽症で、命に関わる状態ではない	救護所で処置・経過観察
黒（待機困難）	生命維持がなく、救命の見込みがない状態	緩和ケアなど（状況により対応）

※災害の規模や状況により、トリアージの基準や運用は変わることがあります。

みなさんにお願いしたいこと

自助

自分の家族の身を守る
備えをしましょう

- 非常時持出品の準備
- 家庭内での安全対策
- 正しい情報の確認



共助

地域で助け合い、
支え合いましょう

- 近所の安否確認
- 高齢者や要配慮者の支援
- 救護所の案内・協力



公助

行政や医療機関が
全力で支えます

- 救護所の開設・運営
- 医療スタッフの派遣
- 必要な物資の確保



⚠ 病院への殺到は、医療の逼迫につながります！

多くの人が病院に集中すると、
本当に治療が必要な重傷者に医療が行き届かなくなります。
みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

なぜ、医療が逼迫するの？

多くの人が直接病院へ…



待ち時間も長くなり、
医療スタッフも不足…



重傷者の治療が遅れ、
救える命が救えなくなる



救急車は適正にご利用を！

緊急性がない場合の１１９通報や救急車の
利用は、お控えください。
本当に必要な人のもとへ、救急車をすぐに向かわせるために、ご協力をお願いします。



災害医療は、みなさんのご理解とご協力で成り立っています。

自助・共助を基本に、必要な人に必要な医療を
届けるため、みなさんのご協力が必要です。



お問い合わせ：流山市役所　健康福祉部　健康増進課（04-7154-0331）